

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK11)

(函館水試担当地区)

2020年6月25日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 9.0	6/15	0	14.2	32.28	30	0	0	60	0	
		10	7.0	32.45	80	0	10	70	0	
		20	5.0	32.60	60	10	0	10	0	
		30	3.6	32.58	10	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 5.5	6/22	0	16.6	31.67	0	0	0	20	10	Dt10
		5	16.2	31.83	0	0	0	80	20	Di20
		10	14.1	32.17	0	0	0	70	20	Di20
		15	9.0	32.29	50	0	30	230	40	Di30,Dro10
		20	8.3	32.91	2,460	0	40	100	20	Di20
	25	7.8	33.02	5,400	0	0	30	0		
八雲 噴火湾北西部 16.0	6/24	0	17.6	31.77	0	0	0	20	0	
		5	16.4	31.78	0	0	0	0	10	Di10
		10	16.3	31.90	0	0	0	40	20	Dt10,Dru10
		15	12.6	31.96	0	0	0	50	0	
		20	9.0	32.25	10	0	50	70	0	
		25	7.4	32.37	940	0	0	110	0	
	30	6.1	32.59	160	0	20	40	0		
鹿部 噴火湾湾口部 15.0	6/18	0	15.7	32.21	0	0	0	90	0	
		10	11.0	32.25	0	0	40	160	0	
		20	7.1	32.55	410	10	20	40	10	Dn10
		30	6.7	32.62	1,090	10	0	10	0	
	40	5.2	33.16	330	0	0	30	0		
知内 津軽海峡 11.0	6/17	0	15.0	33.78	70	0	0	0	0	
		10	12.9	34.02	90	0	10	0	0	
		20	12.3	34.08	10	0	0	0	0	

At=Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピロシース コンプレックス (旧 A. tamarense)

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサンドリウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス ノルヴェジカ, Dt=Dinophysis tripos デイノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス ロテュンダタ

\* 測器着底のため、水深29mのデータを用いた。

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部と噴火湾湾口部で1000細胞/Lを超えて、噴火湾北西部で100細胞/Lを超えて、太平洋東部と津軽海峡で50細胞/Lを超えて出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾北西部、噴火湾湾口部、津軽海峡に出現しています。

太平洋中部の6月中旬の水温は3.6~14.2°C、噴火湾東部の6月下旬の水温は7.8~16.6°C、噴火湾北西部の6月下旬の水温は6.1~17.6°C、噴火湾湾口部の6月中旬の水温は5.2~15.7°C、津軽海峡の6月中旬の水温は12.3~15.0°Cです。

(担当:夏池真史・金森 誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK10)

(函館水試担当地区)

2020年6月8日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	6/3	0	13.1	32.09	100	0	0	80	0	
太平洋中部		10	10.7	32.20	140	10	10	160	0	
15.0		20	6.9	32.86	460	0	40	100	30	Dn30
		30	7.2	33.43	260	0	90	390	50	Dn50
虻田	6/1	0	10.7	31.97	10	0	0	60	10	Dro10
噴火湾東部		5	8.9	32.05	0	0	0	60	10	Dro10
12.0		10	7.8	32.16	60	0	0	60	20	Dn20
		15	5.2	32.63	20	10	0	40	0	
		20	5.0	32.89	20	0	0	20	10	Dn10
		25	4.8	32.95	0	0	0	40	0	
森	6/4	0	12.8	31.89	40	0	0	70	20	Dn10,Dro10
噴火湾南西部		10	8.1	32.16	20	20	20	150	10	Dn10
11.0		20	5.4	32.60	60	20	20	10	0	
		30	4.4	32.84	20	10	0	20	0	
鹿部	5/28	0	9.8	31.89	30	0	0	220	0	
噴火湾湾口部		10	8.8	31.94	0	0	0	310	0	
13.0		20	8.2	31.98	10	20	0	80	0	
		30	6.9	32.18	20	20	0	0	20	Dn20
		40	4.8	32.74	0	0	0	0	0	

At=*Alexandrium tamarense* species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧 *A. tamarense*)

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルディ

Df=*Dinophysis fortii* ダイノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ダイノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ダイノフィシス ノルヴェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ダイノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ダイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ダイノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ダイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ダイノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ダイノフィシス ロテュンダタ

\* 測器着底のため、水深29mのデータを用いた。

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部で100細胞/Lを超えて、噴火湾東部と噴火湾南西部で50細胞/Lを超えて出現しています。また噴火湾湾口部でも出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾南西部、噴火湾湾口部に出現しています。

太平洋中部の6月上旬の水温は6.9~13.1°C、噴火湾東部の6月上旬の水温は4.8~10.7°C、噴火湾南西部の6月上旬の水温は4.4~12.8°C、噴火湾湾口部の5月下旬の水温は4.8~9.8°Cです。

(担当: 夏池真史・金森 誠)